

受け継ぐ技術、次の世代へ。

KUMAMOTO ASO

NOUGYOU

SISYOU

農業師匠

熊本 阿蘇の大地で“農”と生きる。
師との出会いが待っています。



新規就農の極意 ～己を知つべし～

最も大事な最初のステップは、己を知ること。

このチェックシートは、農業で生計を立てることを前提として、新規就農に当たっての知識、準備の進み具合を自分自身でチェックするものです。

一、心身

- 健康・体力には自信がある。
- 生き物（動植物）が好きである。
- 草取りのような単純作業もコツコツやることが出来る。
- 他人との付き合いは苦にならない。
- オフィスの事務作業よりも野外で体を動かすことが好きだ。
- 忍耐力にはかなりの自信がある。

二、意欲、覚悟

- 農業所得で生活、職業としての農業を目指している。
- 新規就農した経営者に会ったり、体験談を直接聞いたことがある。
- これまでに受けた農業体験や研修により農作業の厳しさは体で分かっている。
- 家族と一緒に生活や仕事がしたい。
- 農業は自然の中で生き物を育てるため、自然災害や技術不足により収穫が皆無もしくは激減する場合があることを知っている。また、単価の暴落もあり得ることを知っている。
- 新たに農業を始めることは、経営者として新しく事業を起こし、経営者になることであり、非農家出身者が新たに農業を始めることは既存の生産基盤のある農家より容易でないことはわかっている。

三、知識

- 新規就農に関する情報収集に力を入れている
(相談窓口訪問、相談会参加、インターネットホームページ、情報誌等)。
- 実際の就農までの準備事項及び段取りは大筋理解している。
- 自動車運転免許（普通免許以上）を所持している（パーパードライバーを除く）。
- 経営について一定の知識（複式簿記等）はある。
- 農地を取得（購入又は借り入れ）するには法律（農地法等）に一定の要件をクリアする必要があることを知っている。
- 新規就農に当たっての補助金は、離農した場合、返還する必要があることを知っている。

四、準備状況

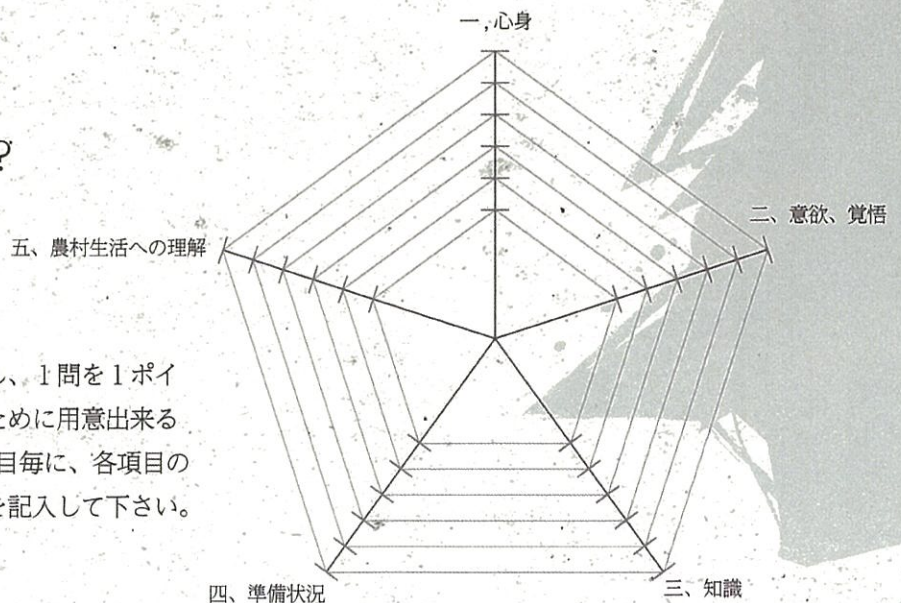
- これまでに1年間にわたる農家・農業法人等での本格的研修を受けたことがあり（又は研修中）、目指す農業の管理技術と経営についての知識は身に付けた。
- 就農希望地で就農に当たって親身になって面倒を見てくれる世話役的な人がある。
- どんな作物を作るのか意向が固まっている。
(作物：) (適地：)
- どこで農業をやるか意向が固まっている。
(就農希望地：)
- 営農のために用意できる自己資金額は
 - 50万円～200万円・・・1/4ポイント
 - 200万円～500万円・・・2/4ポイント
 - 500万円～1,000万円・・・3/4ポイント
 - 1,000万円以上・・・4/4ポイント
- 営農資金が自己資金で足りず、融資制度を利用する場合、連帯保証人になってくれる人が見込める。
- 営農資金の他に、当面の生活資金（1～2年程度）を用意している。

五、農村生活への理解

- 農業以外に、本人や家族に収入を得る手立てがある。
- 農業をするには、住居がアパートなどでは不便な場合があることを知っている。
- 農地と住居が離れていると作業が不便であることを知っている。
- 農村で生活する場合、地域とのコミュニケーションの重要性を知っている。
- 農業に関わる共同作業や地域での役割が求められることを知っている。
- 家族が農業や農村生活についてよく理解し、その上で就農に同意している。

■あなたの就農適性は？

自身が当てはまるものをチェックし、1問を1ポイントとして換算し（四の「営農のために用意出来る自己資金額」を除く）、一～五の項目毎に、各項目の合計ポイントでレーダーチャートを記入して下さい。



なぜ農業師匠に学ぶの？

あなたの農業適性はどうでしたか？

実際にレーダーチャートを作成してみると、大きな3つの壁が立ちはだかります。この3つの壁をクリアせずに就農してしまうと、手痛い失敗をしてしまいます。

就農に向けた三つの壁

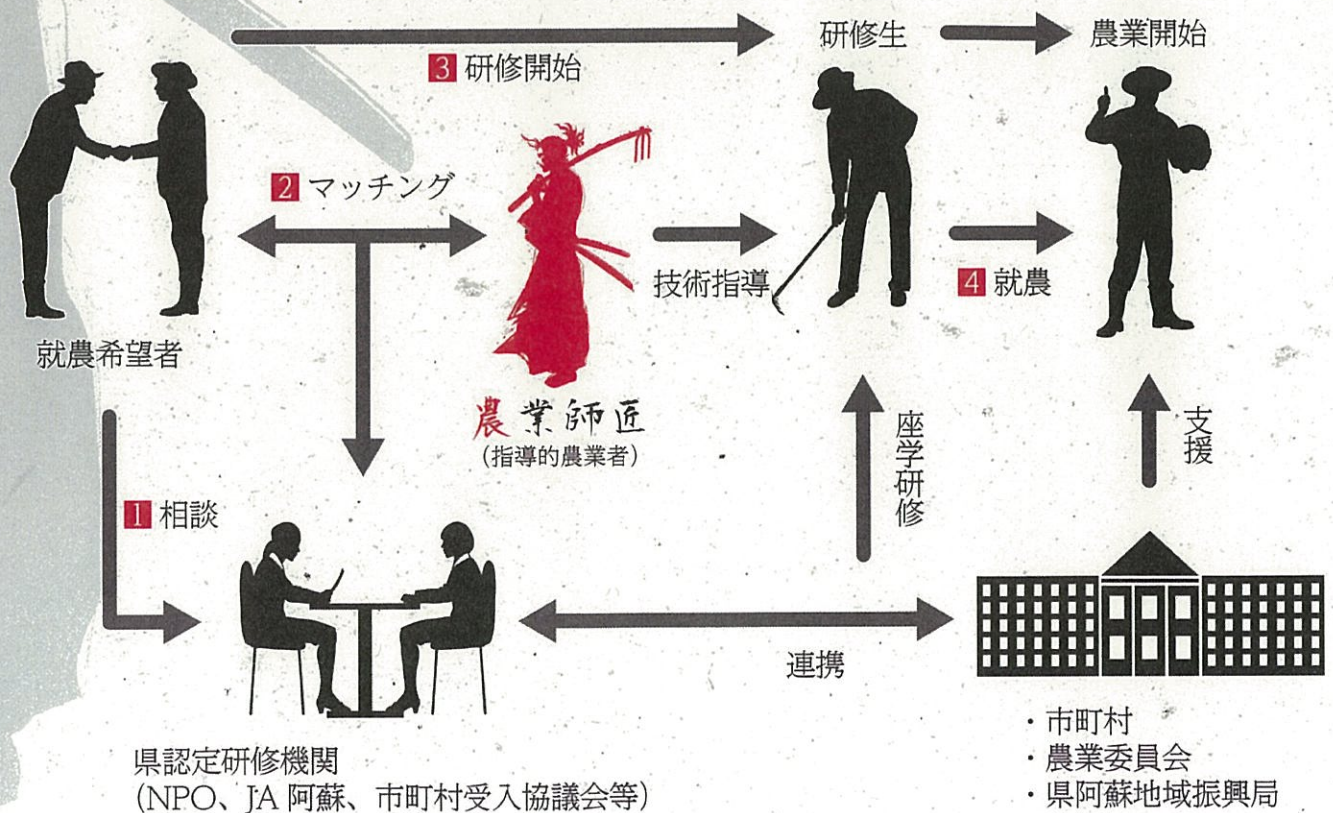
一、覚悟が足りない 二、技術が無い 三、ネットワークが無い

これらは、決して一朝一夕で身につくものではありません。
農村社会で一定の期間生活をし、生きた経験を積むことが必要不可欠です。
だから・・・農業師匠の元で学ぶことが必要です。

「農業師匠」とは、阿蘇地域で農業を営む、後進の育成に情熱を持った先進農家です。

ある方は野菜、ある方は花き、ある方は畜産・・・

阿蘇郡市内全7市町村に、各分野のプロである農業師匠がいらっしゃいます。これまでに、多くの方が農業師匠の元で研修を積み、阿蘇地域で就農し、活躍しておられます。



就農までの流れ

① 就農相談

農業研修開始までのスケジュールや国の制度の活用などについて手続き方法を説明します。電話ではなかなか伝わりにくい事がありますので、まずは相談窓口までお越しください。お越しの際は、事前にご連絡ください。

② 研修申し込み

次ページの募集要項を確認のうえ、お申し込みの手続きを行います。

③ 体験研修

受け入れ農家（農業師匠）の下で、数日間の体験研修を受けることができます。この間、受け入れ農家に研修生としての適性を確認していただきます。

④ 面接

希望する受け入れ農家、県認定研修機関、市町村、県阿蘇地域振興局などで構成されたメンバーで面接を実施します。就農のビジョンや覚悟、協調性や継続性、体力面などについて聞き取りを行います。

⑤ 研修スタート

農業師匠の下での農作業の実践及び、県認定研修機関等が行う座学研修を受けます。研修期間中は、要件を満たせば農業次世代人材投資事業（準備型）150万円/年（最長2年間）を受けることができます。

⑥ 就農の準備

研修期間中、以下のような就農の事前手続きが必要です。

- (1) 認定新規就農者の認定を受けるための手続き
- (2) 農地の確保（農業委員会への申請）
- (3) ビニールハウスや牛舎、家畜導入等の導入費用や運転資金の準備
（各種補助事業、青年等就農資金の手続き）
- (4) 人・農地プランの中心経営体への位置づけ
- (5) 農業次世代人材投資事業（経営開始型）の手続き（要件を満たす場合）

農業研修生の募集要項

●対象者

- ①研修開始日における満年齢が年齢 18 歳以上 50 歳未満であること
- ②研修後、研修先地域管内で就農・経営を開始すること
- ③就農後、地域と協調して活動ができること

●研修内容

- ～受入農家先での実践研修（栽培技術等）～
 - ・定植、収穫、肥培管理、出荷作業等
- ～座学研修（農業基礎知識等）～
 - ・県認定研修機関の開催する座学研修会
 - ・県主催の研修生勉強会等

●研修期間

1 年以上 2 年未満（※年間 1,200 時間以上）

●選考方法

書類審査、面接審査、体験研修等

申し込み・問い合わせ先

JA 阿蘇 営農部営農企画課
 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地 387-5
 TEL：0967-22-6115 FAX：0967-22-6117

KUMAMOTO ASO



asonougyoushisyoun.com



実施委託元

阿蘇地域農業振興協議会

(事務局：県北広域本部 阿蘇地域振興局農業普及・振興課内)

実施委託先

JA 阿蘇 (事務局)

関連機関

阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村

NPO 法人 九州エコファーマーズセンター

NPO 法人 熊本県有機農業研究会

南阿蘇村農業研修生受入協議会